

ナバナ (平坦地)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
露地													
主な作業	収穫終了									本マ播 舗ル 準チ種 備	定 植	収 穫	

ナバナ アブラナ科 原産地：

作物名 ナバナ

学名

作型 平坦地

(2) 投下労働時間 時間/10a

(3) 所得率 %

(4) 経営規模 10a

技術体系

1 特徴

草丈60～80cm、ほぼ直立し、茎は太く、葉は密に互生する。葉は基部で茎を抱き、強く縮れてねじれ、ふちに不規則な切れ込みがあり波打つ。

2 栽培条件

(1) 温度

発芽温度の幅は広く15～30℃の範囲で適温下では2日程度で発芽する。

(2) 日長

長日作物（2～3月にかけて開花する）。

(3) 土壌条件

適地は有機物に富む粘質土壌か沖積層の壤土地帯だが、広く土壌適応性を示す。

3 適応地域

平坦地域

4 施設装備

露地栽培のため必要なし。

5 経営目標

(1) 収量 0.8t/10a

栽培技術

1 品種

三重ナバナ

三陸つぼみ菜

2 播種

播種量は10a当たり40m²程度必要で、セルトレイ200穴またはペーパーポットV4をそれぞれ23個、28個準備する。1粒ずつ播種し、種子が隠れる程度に覆土する。乾燥防止のため、新聞紙で覆う。発芽を確認したら、新聞紙をはがし、徒長を防ぐ。

3 本圃準備

(1) 土づくり

定植2～3週間前までに石灰窒素（80kg/10a）を施用し、耕耘する。基肥は土壌水分が適当なとき、堆肥と一緒に全面散布し、畦立てマルチを行う。（1週間前までに）

(2) 施肥

収穫期に入ってから肥料切れは品質低下につながるため、2週間ごとに追肥を行う。（窒素成分で2kg/10a）。

(kg / 10a)

	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	2 8	2 1	1 2
追 肥	1 0	1 0	6 . 3
合 計	3 8	3 1	1 8 . 3

5 栽培管理

(1) 栽植様式

畦幅 1 3 5 c m、条間 4 5 c m、株間 3 5 ~ 4 0 c m の 2 条植えとする。

(2) 温度管理

生育適温は 1 5 ~ 2 0 °C。

花蕾の発育適温は 1 2 ~ 1 6 °C である。

(3) 灌水

冬期、極端な干ばつ状態の場合は畦間灌水する。

(4) 摘葉

第一回収穫後、外葉（主枝の葉）を落とし、腋芽が伸びやすいようにする。

6 収 穫

第一回収穫は葉数が 1 5 枚になった頃、1 0 枚程度残し、摘芯収穫する（2 0 ~ 2 3 c m）。第二回以降は、腋芽を伸ばし収穫する。